

2021年5月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) 国内観光の再開
- (2) 電力問題
- (3) ハバナ内のバス運行の減少
- (4) 国際空港での外貨への両替停止

2 外交

- (1) ディアスカネル第一書記兼大統領とチョン・ベトナム党書記長の電話会談
- (2) ディアスカネル第一書記兼大統領と習近平総書記兼国家主席の電話会談
- (3) 駐コロンビア・キューバ人外交官の追放に対する外務省非難
- (4) ロドリゲス外務大臣による、キューバ農業生産への米国による封鎖に対する非難
- (5) イスラエル・パレスチナ情勢に関する表明
- (6) 日本によるバス供与
- (7) コロンビア和平に関するディアスカネル大統領の発信
- (8) ディアスカネル大統領の最高ユーラシア経済評議会への参加
- (9) ロドリゲス外務大臣と Sabonge カリブ諸国連合事務局長の電話会談
- (10) ポルタル保健大臣による世界保健機関年次総会への出席
- (11) キューバ・ルクセンブルグ政策協議
- (12) 米国によるテロ対策非協力国指定の維持に対する非難
- (13) 中国によるソーラーパネルの供与
- (14) アエロフロート航空のバラデロ・モスクワ間運航
- (15) キューバ・カナダ外務局長級協議
- (16) キューバ・ノルウェー外務次官協議

3 新型コロナウイルス

- (1) 新型コロナウイルス感染状況等（※5月31日23：59時点、保健省発表）
- (2) キューバ国産ワクチン

【本文】

1 内政

- (1) 国内観光の再開

12日、クバナカン・グループが、今年の夏に向けて国内向け観光の案内を開始した。6月30日までに、7月1日から8月31日までの旅行をハバナツール、ガビオタツール

等の国営旅行代理店で予約した場合に5%の割引が適用されるとのこと。

(2) 電力問題

15日、エネルギー・鉱業省は、14日にキューバ全土で起こった発電所の故障による停電について、全面的に解決した旨ツイッターで発信した。

(3) ハバナ内のバス運行の減少

16日、燃料不足により、ハバナ内のバスの運行数が減少する旨が発表された。この措置により、140台のバスが運行を休止し、その間整備や修理等が行われる。

(4) 国際空港での外貨への両替停止

19日、両替所は、外貨現金が枯渇していることに鑑み、20日以降、国際空港に所在する両替所での外貨販売を停止することを決定した。同決定は、新型コロナウイルスの影響により、海外観光客が急激に減少した結果、深刻な外貨不足に陥ったことに起因しているとのこと。

2 外交

(1) ディアスカネル第一書記兼大統領とチョン・ベトナム党書記長の電話会談

5日、ミゲル・ディアスカネル共産党第一書記兼大統領は、自身のツイッターにて、グエン・フー・チョン・ベトナム党書記長と電話会談を行い、第8回共産党大会の結果について情報共有を行うとともに、両国間の特別な友好・協力関係について満足の意を表明した旨発信した。

(2) ディアスカネル第一書記兼大統領と習近平総書記兼国家主席の電話会談

6日、ディアスカネル共産党第一書記兼大統領は、自身のツイッターにて、習近平総書記兼国家主席と電話会談を行い、第8回共産党大会の結果や、両国間の友好関係について意見交換を行った旨発信した。

(3) 駐コロンビア・キューバ人外交官の追放に対する外務省非難

7日、コロンビア外務省が駐コロンビア・キューバ人外交官をペルソナ・ノン・グラータとして国外追放することを決定したことを受け、キューバ外務省は、ツイッターにて「コロンビア政府は、4月28日からの抗議デモが拡大する中で、新自由主義に沿った措置としてキューバ人外交官を追放するという非友好的な決定を行った。この不当な行為は、数十人の死者と何百人もの負傷者を出している軍・警察による暴力的制圧に対する国際社会とコロンビア社会の注意を逸らすことを目的としたものである」旨発信した。

同日、エウヘニオ・マルティネス・エンリケス外務省ラテンアメリカ・カリブ総局長は、

自身のツイッターにて、「駐キューバ・コロンビア大使を召喚し、コロンビア外務省の決定に対し断固として抗議する旨伝えた。駐コロンビア・キューバ大使館の機能に影響を与える根拠のない行為を非難する。キューバ人外交官はウィーン条約の義務を真摯に遵守していることを再確認する」旨発信した。

(4) ロドリゲス外務大臣による、キューバ農業生産への米国による封鎖に対する非難

10日、ブルーノ・ロドリゲス外務大臣は、自身のツイッターにて、「国連世界食糧計画による新型コロナウイルスに関するグローバルアップデートによると、米国による封鎖がキューバの食糧安全保障への影響の原因となっている。ジェノサイド的政策を停止すべきである」旨発信した。外務省によると、米国による経済紛争により、キューバの農業・食糧分野は2019年4月から2020年3月の間で、4.28億米ドル以上の影響を受け、同時期の封鎖による損失は、50億ドルを超えた。

(5) イスラエル・パレスチナ情勢に関する表明

ア 14日、ディアスカネル大統領は、自身のツイッターにて「ガザ地区に対する攻撃を直ちに停止すべき。シオニストの野蛮行為と、米国のイスラエル政府支持に基づき犯罪行為が無罪放免になるとの庇護は、世界に対する侮辱である。パレスチナ人に対する明白な人権侵害を非難する。」旨発信した。

イ 14日、ロドリゲス外務大臣は、自身のツイッターにて「ガザ地区のパレスチナ人に対するイスラエルによる虐殺行為の停止を要請する。国連安保理は、行動を起こし、阻止すべきである」旨発信した。

ウ 15日、外務省は、イスラエル軍による、エルサレム入植地におけるアルアクサモスクに対する攻撃及びガザ地区のパレスチナ人に対する無差別な空爆を最も強い言葉で非難する、パレスチナの人々に、自決権の行使と1967以前の国境に基づいた、東エルサレムを首都とする独立した主権国家の創設を可能とし、パレスチナ避難民の帰還を保証する二国家設立に基づいた、広範、公平かつ恒久的なイスラエル・パレスチナ問題への解決に対する支持を再確認する旨の声明を発出した。

エ 14日、人民権力全国議会国際関係局は、「これまでに122名の死者（うち31名は子ども）、数百名の負傷者、多大な物的被害を引き起こした、ガザ地区のパレスチナ人に対するイスラエルによる無差別的な空爆を断固として非難する」旨の声明を発出した。

(6) 日本によるバス供与

15日、Cubadebate 紙は、日本がハバナ県の公共交通機関発展のために、84台のバスを供与する旨報じた。同供与は、「経済社会開発計画」の無償資金協力により実施される。84台のバスは、コロンビアで製造され7月頃にキューバに到着予定。また、メンテナン

ス機材は7月18日にキューバに到着予定。

(7) コロンビア和平に関するディアスカネル大統領の発信

16日、ディアスカネル大統領は、自身のツイッターにて、「キューバのコロンビアの平和に対する確約は明白であり、今後も同じである。コロンビア国内の情勢をキューバと結びつけようとするいかなる試みも、この明白な真実に反している」旨発信した。

(8) ディアスカネル大統領の最高ユーラシア経済評議会への参加

19日、ディアスカネル大統領は、ビデオ会議方式で開催された最高ユーラシア経済評議会に出席し、概要以下の演説を行った。

ア 同評議会加盟国との経済・財政・金融協力は、双方にとって有益であり、我々は、経済・貿易分野、医療・バイオテクノロジー分野、エネルギー・鉱業分野等、評議会の優先事項全てにおいて協力する用意がある。

イ 大半の人々を疎外・排除し、不平等を生み出してきたシステムの影響は、新型コロナウイルスの拡大により、一層明白になった。人類のために団結することが急務。世界中が緊急事態に直面する中、国際法や国連憲章に違反した、追加的な封鎖攻撃と一方的かつ強硬な措置に苦しんでいる国もある。ロシアに対する米国の一方的かつ不当な制裁を最も強い言葉で非難する。

ウ キューバは、60年以上、犯罪的な経済・金融封鎖に苦しんできた。米国によるジェノサイド的政策を拒絶する。このような状況の中でも、キューバは新型コロナウイルスに対抗することに成功し、5種のワクチンを開発している。キューバとユーラシア経済連合加盟国の専門家間の交流を通じ、医療協力やキューバ国産ワクチンの協力を進める用意がある。

(9) ロドリゲス外務大臣と Sabonge カリブ諸国連合事務局長の電話会談

20日、ロドリゲス外務大臣は、Rodolfo Sabonge カリブ諸国連合事務局長と電話会談を実施し、同連合の課題及び地域協力分野において取り組むとともに、カリブ諸国との歴史的な関係を強化していくことを再確認した旨自身のツイッターで発信した。

(10) ポルタル保健大臣による世界保健機関年次総会への出席

25日、ホセ・アンセル・ポルタル・ミランダ保健大臣は、オンライン方式で開催された世界保健機関年次総会に出席し、概要以下の演説を行った。

ア 新型コロナウイルスの流行は、保健分野だけでなくすべての分野に影響し、持続可能な開発目標にネガティブな影響を及ぼしている。

イ キューバでは、新型コロナウイルスの予防及びコントロールのために、国家計画を適用し、感染者の94%が回復している。5種類のワクチンを開発し、うち2種は治

験第三相にある。これまでの成果に鑑みると、8月までには人口の70%が接種を終えることとなる。

ウ キューバは、新型コロナウイルスとの闘いのために、40か国に57の医療団を派遣した。

(11) キューバ・ルクセンブルグ政策協議

25日、キューバとルクセンブルグは、オンライン方式で外務省間政策協議を実施した。キューバ側はエミリオ・ロサダ外務省二国間関係総局長、ルクセンブルグ側は、Oliver Jean Michel Maes ルクセンブルグ外務省政策局長が代表を務めた。協議中、双方は、良好な二国間関係について強調し、2022年に外交関係樹立80周年を迎えるための取組について協議した。また、経済・貿易・協力関係を更に強化していくことで一致した。

(12) 米国によるテロ対策非協力国指定の維持に対する非難

25日、米国政府による、キューバのテロ対策非協力国指定を継続することの発表を受け、キューバ側は概要以下のとおり反応した。

ア 25日、ロドリゲス外務大臣は、自身のツイッターにて、「バイデン政権は、キューバのテロ対策非協力国指定を維持している。この中傷行為と、トランプ前政権下で課された243の措置を維持していることは驚きであり苛立ちを覚える」旨発信した。

イ 26日、ディアスカネル大統領は、自身のツイッターにて、「米国政府は、キューバをテロ対策非協力国リストに維持し、シニシズム的行動をとっている。帝国は、トランプにより課せられた243の封鎖措置を維持することにより、キューバ人を窒息させることに固執している。誰一人として屈することはない」旨発信した。

ウ 27日、キューバ外務省は、米国のテロ対策に協力していないとしてキューバをテロ対策非協力国と指定する国務省の決定を最も強い言葉で拒絶する旨の声明を発出した。

(13) 中国によるソーラーパネルの供与

26日、外国貿易・外国投資省は、ツイッターにて、中国から5000のソーラーパネルが供与される予定である旨発信した。

(14) アエロフロート航空のバラデロ・モスクワ間運航

26日、Cubadebate 紙は、アエロフロート航空が、6月1日以降、バラデロ・モスクワ間の運航を開始する旨報じた。6月以降、毎週10便がバラデロに到着し、4000人から4500人のロシア人観光客の到着を見込んでいる由。

(15) キューバ・カナダ外務局長級協議

28日、ロサダ外務省二国間総局長は、Sylvie Cesaratto カナダ外務省中米カリブ総局長とオンライン方式で協議した。協議中、両者は両国の歴史的な関係について言及するとともに、経済、貿易、金融及び協力分野での関係強化を進める意志を表明した。

(16) キューバ・ノルウェー外務次官協議

31日、アナヤンシ・ロドリゲス外務次官は、Jens Frolich Holte ノルウェー外務次官とオンライン方式で協議した。協議中、両者は政治・経済分野における関係強化を継続する重要性を強調するとともに、文化分野及び協力計画における良好な関係を評価した。

3 新型コロナウイルス

(1) 新型コロナウイルス感染状況等（※5月31日23：59時点、保健省発表）

ア 感染者累計：143,323名

イ 死亡者数：965名

ウ 退院者数：136,339名

エ 国外搬送者数：2名

オ 自国帰国者数：54名

カ 入院中：5,963名（うち、危篤54名、重篤91名）

(2) キューバ国産ワクチン

ア 7日、メサ・レドンダにて、ホセ・アンヘル・ポルタル・ミランダ保健大臣は、キューバにおける南アフリカ型変異株の感染拡大を受け、感染をコントロールし減少するために、緊急接種に係る国立医薬品医療危機管理センターの承認がおりるまでの間、感染リスクの高いグループ及び地域において、「ソベラナ02」及び「アブダラ」による公衆衛生的介入（治験段階での接種）を行うことを決定したと発表した。12日から接種が開始された。

イ アルゼンチン大統領による関心

16日、アルベルト・フェルナンデス・アルゼンチン大統領は、キューバ国産ワクチンは最も質の高いワクチンであり、アルゼンチンはその製造過程でいかに支援できるか検討している旨、インタビューで述べた。フェリペ・ソラー外務大臣も、ワクチン製造過程での財政支援を検討している旨述べた。